

6月30日(土) 15:20~17:45

本部館3階大会議室

テーマ

「子ども社会」の変容と対応

—学校・家庭・地域の連携という視点から—

趣旨

子どもたちが引き起こす悲惨な事件が続発しています。今日の子ども社会の変化はわれわれの想像をはるかに超えているように思います。いまこそ、子ども社会がどのように変化したのか、その変化に大人社会はどのように対処すればよいのかを、もっと現実的に即して研究していく必要があります。

そのような問題意識から、本シンポジウムにおいては、「子ども社会の変容と対応」をテーマに、学校における「子ども社会」、家庭における「子ども社会」、地域における「子ども社会」それぞれの変化をたどりながら、連携という形で対応を考えていく場合、どのような視野が開かれてくるのかを考えていこうと思います。

それは、現在さまざまに提案されている教育改革とも、密接に関係します。これからの子ども教育は、学校・家庭・地域の連携が不可欠ですが、それぞれの場における「子ども社会」の実態を十分に押さえていないと本当の連携はできません。深刻化する子どもの問題行動や教育改革の動向も踏まえて、議論を深められればと考えています。多くの皆様の参加をお待ちしております。

シンポジスト

- 1 学校における「子ども社会」の変容と対応を中心に
昭和女子大学 有村久春
- 2 家庭における「子ども社会」の変容と対応を中心に
鳴門教育大学 伴恒信
- 3 地域における「子ども社会」の変容と対応を中心として
放送大学 住田正樹

コーディネーター 昭和女子大学 押谷由夫